KEIAN TEAMSTATION

REMOTE DESKTOP DISPLAY

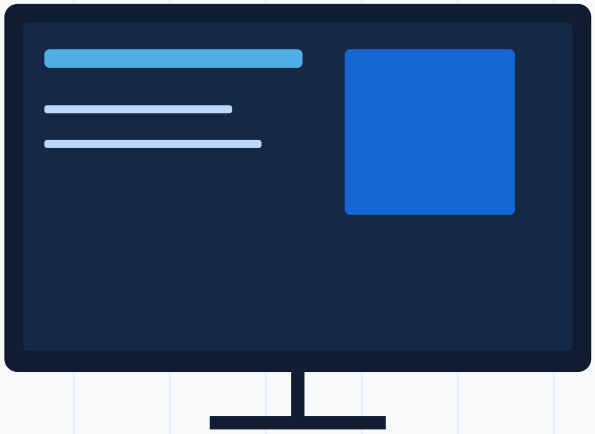
TS-REMOTE-M1

仕事のPCは遠くに。
操作する画面は手元に。

遠隔接続機能を内蔵した
23.8型フルHDディスプレイ。

接続先のPCにある業務環境を、
一台の画面から利用できます。

省スペース / 遠隔操作 / 業務PCに接続



遠隔のPCに接続して操作

構成イメージ

この資料でわかること

01

接続と導入

何をどこに設置し、
どう接続するか

02

性能の読み方

全体遅延8ms未満と表示指標を
分けて理解

03

運用と仕様

機能の利用条件と
画面・端子の仕様

※主な機能はAvicaの契約プランと接続先の環境により異なります。

本体・ネットワーク・接続先の役割

手元のディスプレイから、Avicaを導入した遠隔のPCを操作します。

処理の場所　業務ソフトやデータ処理は接続先のPC側。本体は操作用の画面です。

標準的な接続フロー

1. **接続先を準備**
   PCにAvicaを導入し、利用者と接続先を設定。
2. **ネットワーク接続**
   本体と接続先が通信できる環境を用意。
3. **ログインして操作**
   認証後、遠隔画面を表示して入力を送信。

導入前に確認する4つの項目

PCレスとは「手元に別のPCを置かない」構成です。接続先のPCは必要です。

01

接続先PC

遠隔で使うPCやワークステーションを用意。業務ソフトとデータは原則こちらで動作します。

02

Avicaの導入

接続先PCにAvicaを導入し、利用者と権限を設定。使える機能は契約プランによって異なります。

03

通信環境

本体と接続先を結ぶネットワークが必要。画質や応答速度は通信環境によって変わります。

04

周辺機器と表示

入力機器、電源、ネットワーク接続を設置環境に合わせて準備。複数画面は接続先PCの構成に合わせて設定します。

利用環境に合わせた設定

接続先の台数や利用者数、必要な機能に合わせてAvicaを設定します。

「速さ」を示す数字は別のもの

エンドツーエンド遅延、遠隔映像、パネル更新、画素の応答は、測っている対象が異なります。

遠隔画面

最大60fps

1秒間に送られる遠隔映像フレームの目安。実際の値は接続環境や処理負荷により変動します。

ディスプレイ

最大100Hz

画面が1秒間に更新できる回数。遠隔画面が100fpsで届くという意味ではありません。

液晶パネル

14ms（標準）

画素の色が切り替わる応答時間。操作から画面変化までの総遅延ではありません。

エンドツーエンド遅延：8ms未満（良好なネットワーク環境下）

良好なネットワーク環境下で8ms未満。14msは液晶パネルの応答時間で、遠隔操作全体の遅延とは異なります。

低遅延を支える4つの要素

独自エンジンに、通信最適化、映像・音声処理、GPU加速を組み合わせています。

01 全体

8ms未満の遅延

良好なネットワーク環境下でエンドツーエンド遅延8ms未満。手元の操作を、離れたPCへすばやく届けます。

02 通信経路

OTT SD-WAN

通信環境の変動に合わせてネットワーク経路を最適化し、リモート接続を安定させます。

03 映像・音声

高度なコーデック

映像・音声の圧縮と復号を効率化。高画質と低遅延の両立を支えます。

04 計算資源

GPU加速と低CPU負荷

GPU加速と低CPU使用率設計により、3D CADや高解像度動画編集などの負荷の高い作業を支えます。

幅広い業務に

設計・制作から拠点間のPC利用まで、離れた作業環境を手元で操作できます。

遠隔作業を続けるための機能

Avicaの機能を活用し、接続先の切り替えやファイルの受け渡しを支えます。

01

複数の接続先

社内PC、別拠点のPC、クラウドPCなど、登録された接続先を用途に応じて選択。

02

プライバシーモード

遠隔操作中に接続先の画面表示を制御。周囲からののぞき見を抑える用途に。

03

マルチモニター

接続先が複数画面の場合、表示対象を切り替えて必要な作業画面を確認。

04

ファイル転送

許可された環境間で必要なファイルを受け渡し。権限や社内規程に合わせて運用。

利用できる機能

Avicaの版・契約プラン、接続先OS、管理設定によって異なります。

認証・通信・権限を設計する

誰が使い、どのPCに接続し、何を記録するか。導入時に決める設定を整理します。

01

認証

利用者をAvicaアカウントで識別。二要素認証を設定し、新しい端末からの初回ログインを承認できます。

02

通信の保護

Avicaは遠隔セッションにAES-256のエンドツーエンド暗号化を採用。画面と入力の通信を保護します。

03

アクセス権限

利用者や役割ごとに接続先PCと機能を割り当てます。
異動・退職時には、権限を見直します。

04

運用管理

ログイン・接続・管理画面の操作履歴を確認。
誰がいつ接続し、管理者が何を操作したかを追えます。

Avica Businessの公開情報に基づきます。利用できる機能は契約プラン・接続先OS・管理設定で異なります。
出典: Avica Business（avica.com/products/avica-business/）

接続先の環境を、そのまま使う

業務ソフトやデータは接続先に置き、手元から遠隔操作します。

01

在宅・出張先

社内PC上の業務ソフトや資料に、離れた場所からアクセス。

02

複数拠点

拠点ごとのPCを接続先として登録し、作業環境を切り替え。

03

制作・開発

設計や映像編集などの処理を接続先PCで実行し、手元で操作。

04

ITサポート

許可された管理対象のPCに接続し、状態確認や設定作業。

高負荷な作業も、接続先PCで

処理は遠くで。操作は手元で。

3D CADや高解像度動画編集は接続先PCで実行。手元のTS-REMOTE-M1から画面を見ながら操作できます。

画面と本体の仕様

23.8型フルHDディスプレイの主な仕様です。

表示

画面サイズ	23.8型
パネル	IPS
解像度	1920 × 1080
最大リフレッシュレート	100Hz
アスペクト比	16:9
輝度	250 cd/m²（標準）
コントラスト比	1200:1（標準）
色域	sRGB 99%
パネル応答時間	14ms（標準）

端子・本体

HDMI	1ポート
USB	4ポート
USB Type-C	1ポート
ヘッドホン出力	3.5mm ×1
電源入力	DC 12V / 2.5A
消費電力	30W未満
外形寸法（スタンド含む）	537.84 × 210.4 × 421 mm
質量（スタンド含む）	2.75 kg
VESAマウント	75 × 75 mm

性能表示について

最大100Hzは本体画面の仕様、14msは液晶パネルの応答時間です。
遠隔画面の60fpsや端末間の遅延とは異なる指標です。